SHARP

普通紙コピーファクシミリ

取扱説明書

形名 UX-F12CL（ユーエックス エフ シーエル）
UX-F12CW（ユーエックス エフ シーダブル）

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

技術基準適合品

もくじ

1章　ご使用の前に

2章　電話

3章　コピー

4章　ファクス

5章　留守番電話

6章　便利な機能

ページ

7章　ナンバー・ディスプレイ

ページ

8章　こまったときは

ページ

9章　ご参考に

ページ

ご使用の前に
電話
コピー
ファクス
留守番電話
便利な機能
ナンバー・ディスプレイ
こまったときは
ご参考に

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号について

⚠危険 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

⚠警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

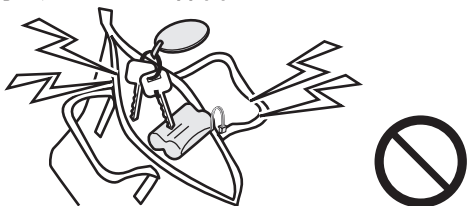
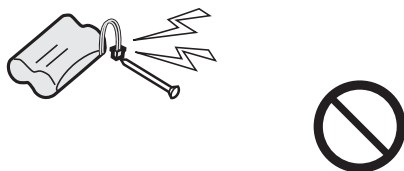
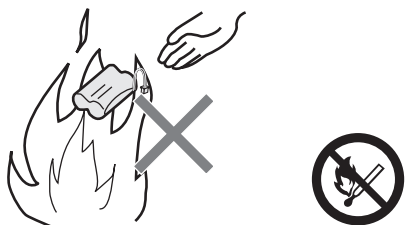
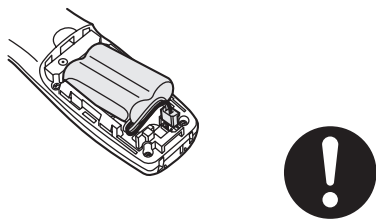
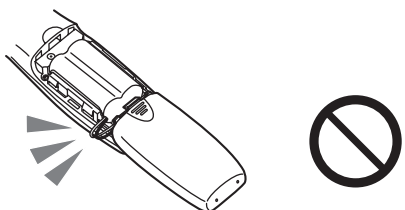
上の記号は、気をつける必要があることを表しています。

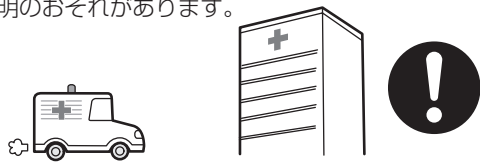
上の記号は、してはいけないことを表しています。

上の記号は、しなければならないことを表しています。

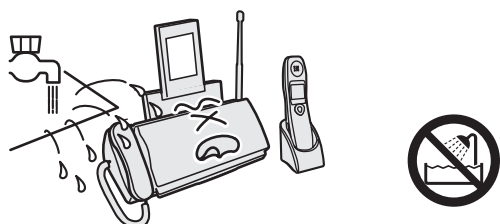
⚠危険

充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

■充電池をネックレス・ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

■充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。

■充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。

■充電池は、専用のものを使用してください。

■充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。

■充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

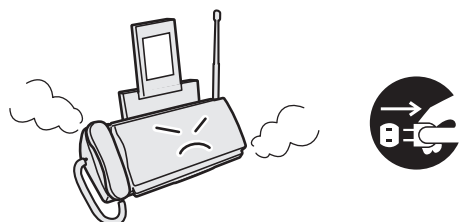
失明のおそれがあります。

⚠警告

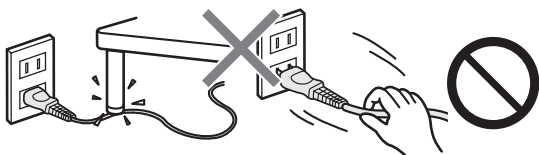
■水や薬品などの液体をこぼさないでください。
火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■浴そうなど、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。
絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。

■ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。
火災・感電の原因になります。修理は販売店へご相談ください。

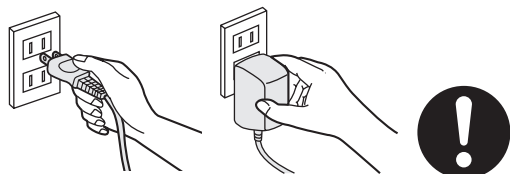
■充電池のビニールカバーを、はがしたりしないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。

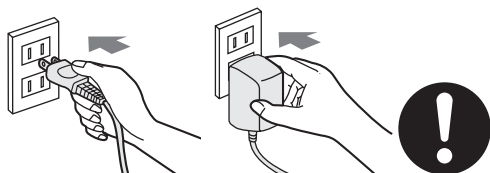
■内部に金属物を入れないでください。
火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

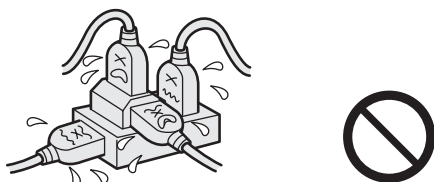
■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。
火災・感電の原因になります。差し込みプラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。
けがの原因になります。
万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

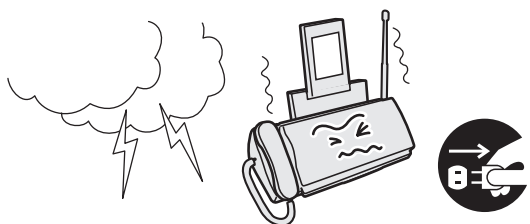
■電源コード・差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。
次のようなことはしないでください。
・傷つける　・無理に曲げる
・加工する　・無理にねじる
・熱器具に近づける　・重い物を載せる
・無理に引っ張る　・束ねる
傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。
コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。

⚠警告

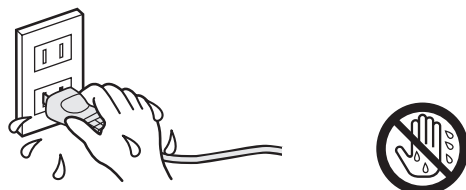
■差し込みプラグやACアダプターを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。

感電の原因になります。

■差し込みプラグやACアダプターは根元まで確実に差し込んでください。

感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。

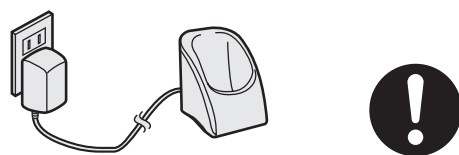
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグ、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

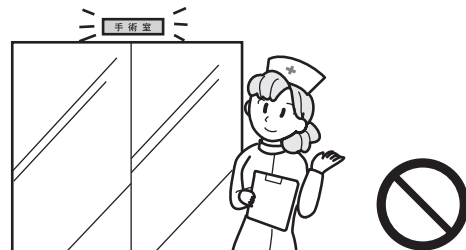
火災・感電・故障の原因になります。

■ぬれた手で差し込みプラグやACアダプターの抜き差しはしないでください。

感電の原因になります。

■この製品は国内電源仕様です。必ず家庭用電源電圧（交流100V）に接続してください。

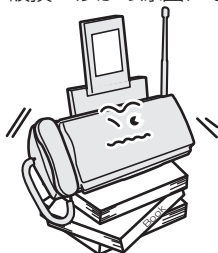
海外や交流100V以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

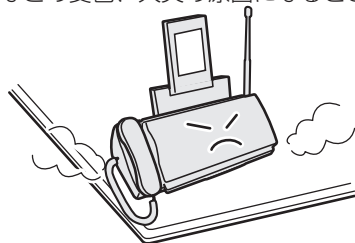
■子機を充電するときは、専用の充電器、ACアダプターを使用してください。

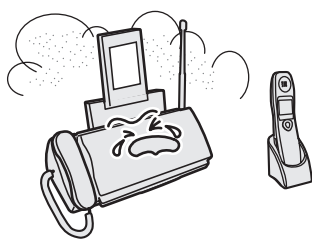
指定以外のものを使用すると、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因になります。

■医療用電気機器の近くでは使用しないでください。

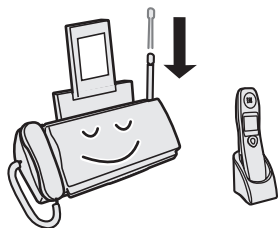
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠注意

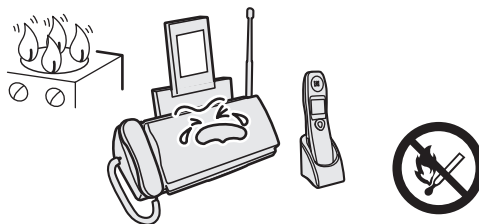
■水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。

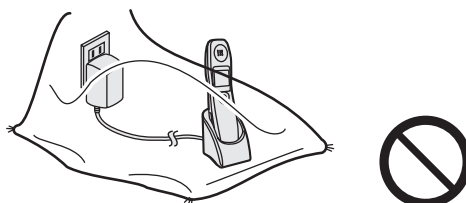
落下により破損・けがの原因になることがあります。

■風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。

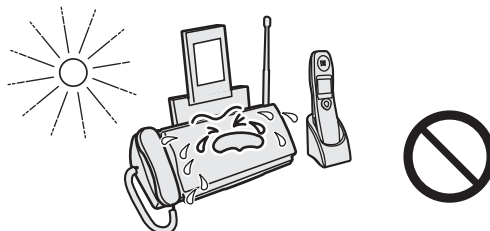
通気孔をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しないでください。

火災・感電・故障の原因になることがあります。

■この製品を移動するときは、アンテナをたたんで、差し込みプラグ・電話機コード・ACアダプターを抜いてください。

事故の原因になることがあります。

■火気や熱器具に近づけないでください。

変形や故障、火災の原因になることがあります。

■充電器やACアダプターを布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■暑い場所や直射日光のあたるところ、冷暖房機の近くには置かないでください。

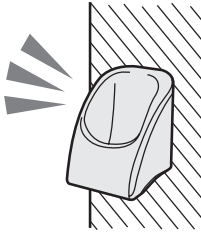
35℃以上、5℃以下では、誤動作・変形・故障の原因になります。

■万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。

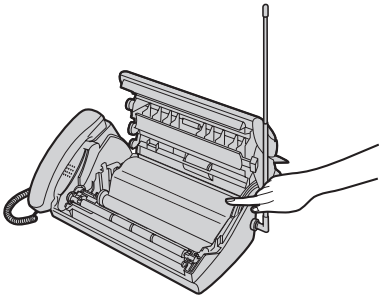
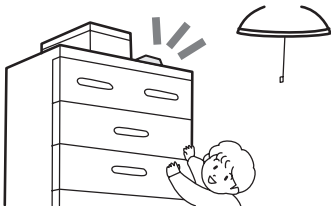
○アース線を取り付けられるところ
　電源コンセントのアース端子
　銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
　設置工事（D種）が行われている接地端子

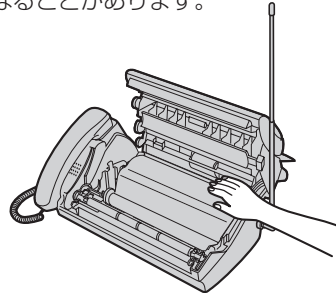
○アース線を取り付けてはいけないところ
　ガス管
　電話専用アース
　避雷針
　水道管や蛇口

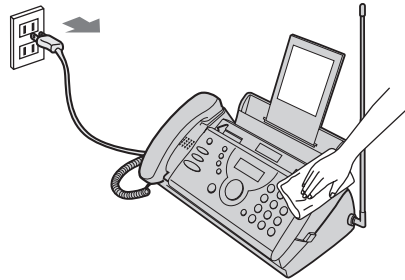
⚠注意

■子機を壁にかけて使用するときは、充電器を確実に取り付けてください。

落下により、けがの原因になることがあります。

■カバーを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。

けがの原因になることがあります。

■充電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。

■手で直接記録ヘッドに触れないでください。

発熱している場合があり、やけどやけがの原因になることがあります。

■点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグ、ACアダプターをコンセントから抜いて（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）行ってください。

感電やけが（やけど）の原因になることがあります。

ご使用の前に

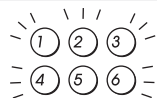
ページ

特長

普通紙ファクシミリ／充実のFAX機能

熱転写記録方式により、普通紙でコピーやファクス受信ができます。
記録紙は普通紙を30枚までセット可能。原稿の連続自動給紙は10枚まで可能。中間調64階調採用により、写真の原稿でも鮮明にファクス送信や普通紙コピーができます。

ダイヤルライト

親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、ダイヤルボタンが光ります。

読上げボイスダイヤル機能（☞2-5ページ）

親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルボタンの番号を、スピーカーの音声でお知らせします。番号を確認しながらダイヤルすることができ便利です。
（子機にはこの機能はありません。）

液晶ディスプレイ付コードレス子機

液晶ディスプレイで電話番号や名前を表示。子機の操作でファクス送受信はもちろん、録音を再生することもできます。また、必要に応じて子機は合計 4 台まで増設できます。

マルチファンクションキーで選べる電話帳（☞2-10～2-20ページ、4-6～4-9ページ）

親機も子機もマルチファンクションキーで相手の方を選んで電話やファクス送信ができます。（親機と子機にそれぞれ100人分）
しかも、どちらかに登録した電話帳データを親機↔子機間で転送できるため、同じデータを2度登録する手間が省けます。

フラッシュメモリー採用デジタル留守録（☞5-2～5-8ページ）

デジタルだから巻き戻し不要で「即頭出し再生」「早聞き再生」「遅聞き再生（親機のみ）」ができます。
フラッシュメモリー採用のため、停電になっても録音内容は消えません。

着メロ作曲機能（☞6-5～6-10ページ）

子機呼出音のメロディーは、自分で作ることもできます。

ナンバー・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ対応（☞7-2～7-23ページ）

電話に出る前やキャッチホンでかかってきた相手の方の番号を確認できます。また、電話帳に登録している相手先からの電話は、名前を表示したり、呼出音を変えたりすることができます。「ナンバー・ディスプレイ」「キャッチホン・ディスプレイ」サービスはNTTとの契約が必要です。（有料）

取扱説明書の見かた

インデックス
操作したい項目を簡単に検索できます。

タイトル
ページの操作や項目を表しています。

機能説明
機能の内容をイラストなどで説明しています。

操作手順
基本的な操作を説明しています。

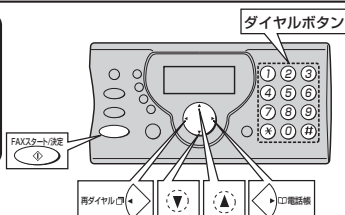
補足説明
操作に関する補足事項を説明しています。

追加説明
操作の途中や、こまったときのアドバイスなど追加操作について説明しています。

お知らせ
制約事項や便利で役立つ内容を説明しています。

電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

電話帳にファクス番号を登録しておくと、電話帳から相手の方を選んでファクスを送ることができます。
親機と子機の電話帳にはそれぞれ100人分の番号を登録できます。(☞2-10～2-14ページ)
相手の方がお話し中など、もう一度電話をかけ直してファクスを送るときは、再ダイヤルボタンを使って簡単にファクスを送ることができます。

ダイヤルボタン
FAXスタート/決定
再ダイヤル
電話帳

親機の電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

受話器を置いたまま操作します。

1 原稿ガイドを合わせ **原稿をウラ向きにセットする**

原稿挿入口

●送信する面を下にして原稿挿入口にセットします。（一度に10枚まで）
●画質を選ぶときは、画質/カナボタンを押します。（☞3-4ページ）画質/カナボタンを押さなかったときは、自動的に「フツウジ」で送信します。

電話帳でファクスを送るとき

2 電話帳 **を押してから、▲または▼で相手の方を選ぶ**

イケダ　サトシ

●ディスプレイで相手の方を確かめます。

再ダイヤルでファクスを送るとき

2 再ダイヤル **を押す**

〈サイダ イヤル〉

●ディスプレイで相手の方の名前（番号）を確認します。

3 FAXスタート/決定 **を押す**

●自動的に送信を始めます。

■ **原稿がつまったときは（☞8-6ページ）**

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。
■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞8-24ページ）**
■ **受話器を取ってファクスを送るときは**
① 受話器を取る
② 「ツー」という音を確かめたあと、
電話帳で送るときは、
電話帳 を押して、▲または▼で相手の方を選び、FAXスタート/決定 を押す
再ダイヤルで送るときは、
再ダイヤル を押す
③ 相手の方が受信操作したときの「ピー」という音が聞こえたら（または、相手の方とつながったら）FAXスタート/決定 を押す
④ 受話器を戻す
■ **親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは**
受話器を置いたまま操作します
① 再ダイヤル を押す
② キャッチ/消去 を押す
③ 「ピー」と鳴り再ダイヤルの記憶が消去される

お知らせ
● ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）
● 電話帳や再ダイヤルから自動的にファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

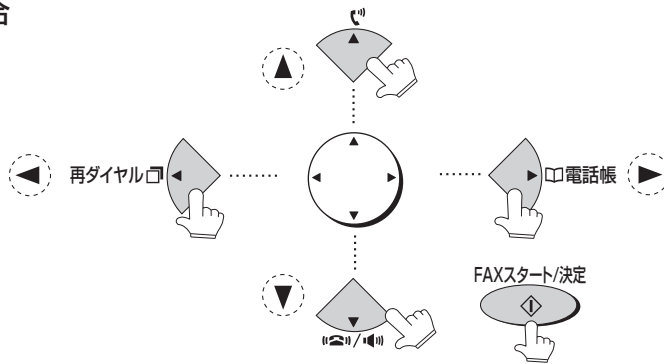
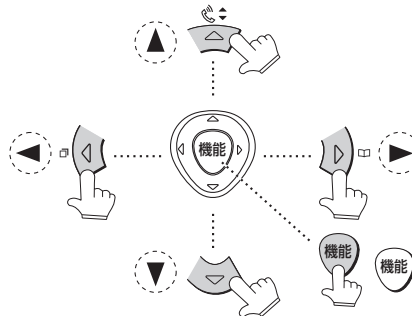
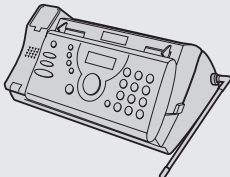
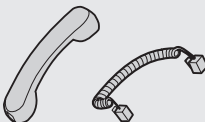
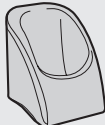
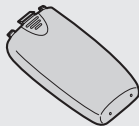
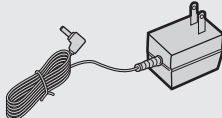
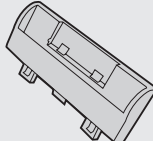
ファクス　電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

4-6

操作手順でのボタンやマークの意味

■ 取扱説明書内では次のように表記しています。◀・▶・▲・▼ はマルチファンクションキーの４方向（左・右・上・下）を押す操作を示しています。

■ FAXスタート/決定 は親機のFAXスタート/決定ボタン、機能 は子機の機能ボタンを押す操作を示しています。

例：親機の場合

例：子機の場合

付属品の確認

このたびは、「普通紙コピーファクシミリ」をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
まず、次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

親機　1台 	受話器　1個 受話器コード　1本 	子機 UX-F12CL：1台 UX-F12CW：2台	充電器(子機用) UX-F12CL：1個 UX-F12CW：2個
充電池ふた(子機用) UX-F12CL：1個 UX-F12CW：2個 	充電池(子機用) UX-F12CL：1個 UX-F12CW：2個 (白色)	ACアダプター(子機用) UX-F12CL：1個 UX-F12CW：2個 	電話機コード（約2m）1本
記録紙ホッパー　1個 	記録紙ホルダー　1個 	●お試し用インクリボンとインクリボン用ギヤはあらかじめ親機にセットされています。 お試し用インクリボン（10m）1本 	インクリボン用ギヤ 緑色：1個 白色：1個

- ●充電器（子機用）の壁掛け用のネジは付属していません。壁に掛けてお使いのときは、市販のネジをお買い求めください。（☞1-21ページ）
- ●付属のお試し用インクリボンは、別売品のインクリボンに比べて長さが短くなっています。お早めに別売品のインクリボンを準備されるようおすすめします。
- ●お試し用のインクリボンがなくなったら、インクリボンのみを廃棄して別売のインクリボンに交換してください。ギヤ（緑色1個、白色1個）は廃棄しないでください。

取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・1冊
かんたん操作ガイド・・・・・・・・・・・1部
かんたん取り付けガイド・・・・・・・・・1部
読み取り調整シート・・・・・・・・・・・1枚
通信テストシート・・・・・・・・・・・・1枚
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・1部

お知らせ

- ● この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞8-31～8-32ページ）
- ● お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ● この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

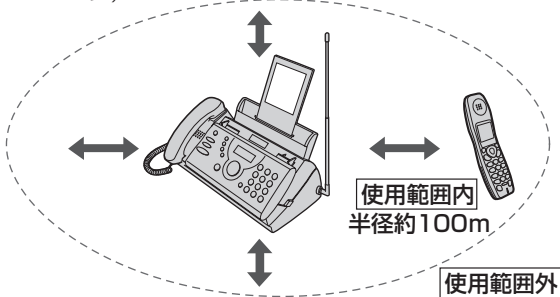
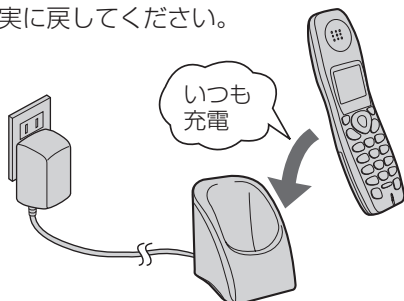
ご使用の前に知っていただきたいこと

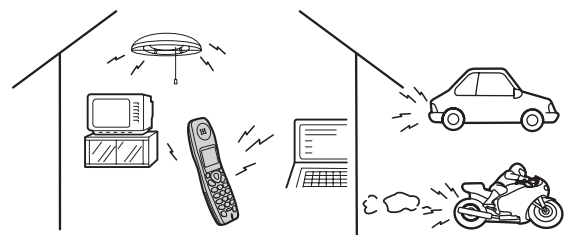
ご使用にあたってのお願い

この製品のご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要**となります。
詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。
This facsimile is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

子機について

■ **使用範囲を確かめる**
子機と親機間の電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、半径約100mです。（直線見通し距離）
内線通話しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。（☞2-24〜2-25ページ）

■ **子機はいつも充電器に戻しておく**
子機は使わないときも、充電器に戻しておいてください。充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

■ **親機と子機の間に障害物のある場所で使わない**
マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。

■ **雑音の入ることがあります**
自動車やオートバイが近くを通ったときや、蛍光灯のスイッチを「入」「切」したときなど、雑音が入ることがあります。

■ **"傍受"にご注意ください**
この商品は盗聴防止スクランブル機能を搭載していません。
コードレス子機を使っての通話は、電波を利用していますので第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。
機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。
傍受（ぼうじゅ）とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

■ **親機のアンテナは立てて伸ばす**

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは必ず立てて伸ばしてください。

■ **子機の呼出音は、遅れて鳴ります**

電話がかかってくると、はじめに親機の呼出音が鳴って、そのあと、少し遅れて子機の呼出音も鳴ります。

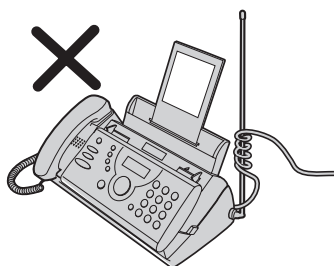
■ **アンテナにコードを巻き付けない**

親機の電源コードや電話機コード、充電器のACアダプタケーブルをアンテナに巻き付けないでください。着信時に子機の呼出音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。また、アンテナが破損する原因となります。

■ **受話口やスピーカーの穴をふさがない**

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。

■ **送話口（マイク）をふさがない**

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。

■ **取り扱いについて**

ご近所でコードレス電話機が使われているときは、正しく動作しないことがあります。
こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ **子機や充電器を設置するときは**

親機や他の増設子機、PHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）
子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

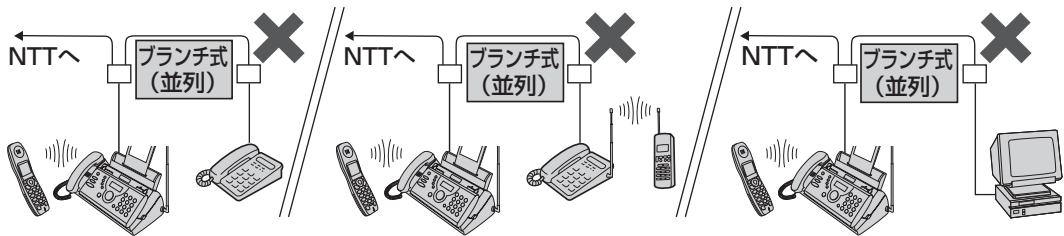
内蔵のリチウム電池について

- 本体の時計はリチウム電池で動いています。
- リチウム電池の寿命は、連続的に電源コードを抜いた状態で、約５年間です。
- リチウム電池の交換は、お買いあげの販売店やシャープサービス窓口へご依頼ください。（有料）

この装置について

● この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

接続について

● 今お使いの電話機や、他のファクシミリ、ホームテレホン、ビジネスホンなどには接続できません。
● 下図のように、一つの電話回線を2つ以上に分けて並列に接続しないでください。共鳴したり、正常に機能が動作しなくなったりすることがあります。また、他のコードレス電話機と並列に接続すると、電波が干渉し合って子機の呼出音が鳴らないことがあります。同様にパソコン等を並列に接続しないでください。パソコンを並列に接続すると、パソコンでメールやインターネットをお使いのとき電送速度が遅くなることがあります。

コピーの禁止について

本商品で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

■法律で禁止されているもの

●紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。
（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）
●外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。
（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）
●未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。
（郵便切手類模造等取締法）
●政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。
（印紙等模造取締法）

■コピー（複製）する場合に注意を要するもの

●民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
●政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

■著作権に注意するもの

●著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

各部の名前とはたらき

親機

記録紙ホルダー
ここに記録紙をセットします。

記録紙ホッパー
セットした記録紙を支えます。記録紙をセットしていないときは、窓の部分にお好きなポストカードなどを入れ、フォトフレームとしてもお使いいただけます。

原稿挿入口
ここに原稿をセットします。

アンテナ

通気孔

フックスイッチ

原稿ガイド
原稿の幅に合わせます。

受話器

操作パネル解除ボタン
インクリボンを交換するときや、原稿、記録紙がつまったときに、このボタンを押して操作パネルを開けます。

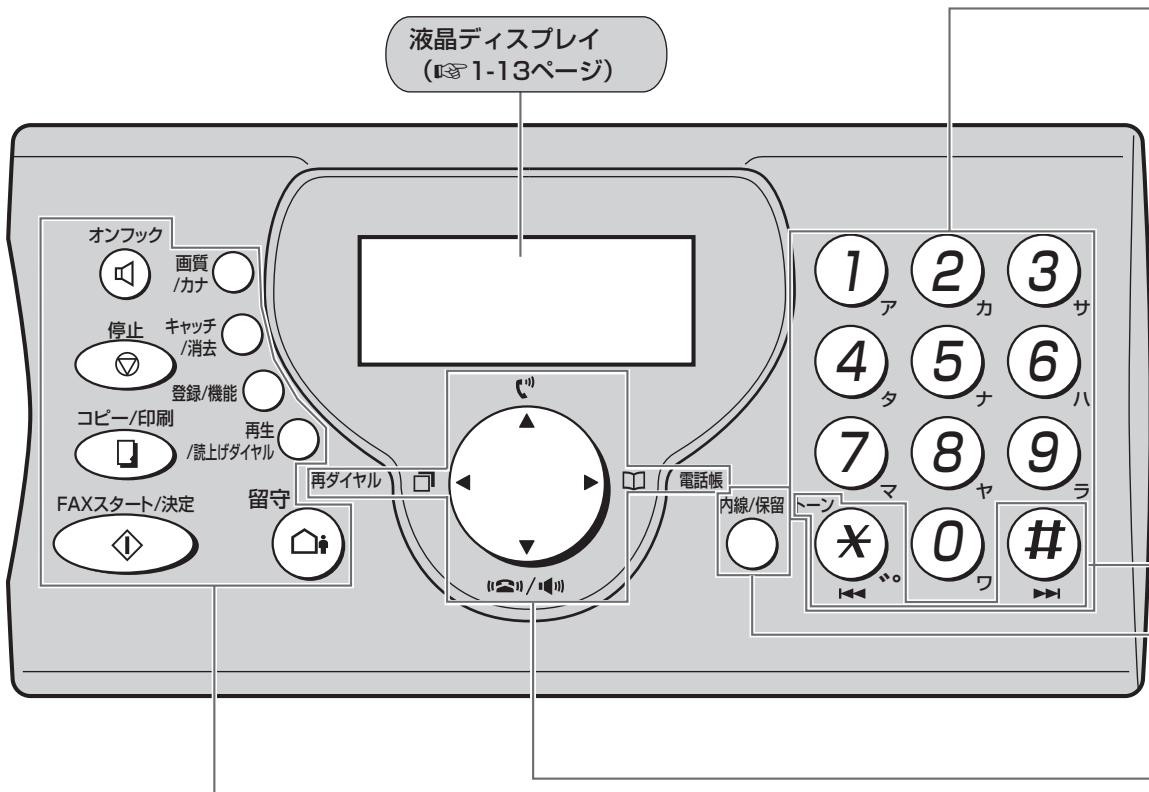
スピーカー
録音を再生しているときや、オンフックボタンを押して受話専用にしているときは、ここから聞こえます。

記録紙排出口
記録紙がここから出てきます。

受話器コード

原稿排出口
原稿がここから出てきます。

操作パネル

液晶ディスプレイ
（☞1-13ページ）

オンフックボタン
（☞2-3、4-3ページ）

受話器を置いたままダイヤルするときに使います。

停止ボタン

操作や送信を途中で止めるときに使います。

コピー/印刷ボタン
（☞3-5ページ）

原稿をコピーするときに使います。

FAXスタート/決定ボタン

ファクスを送るときや受けるときやメモリー受信したデータをプリントするときに使います。また、選択や入力した内容の決定に使います。

画質/カナボタン
（☞1-31～1-33、3-4ページ）

原稿の文字の大きさや種類によって画質や濃度を選ぶときに使います。また、文字を入力するとき、カナ入力モードや英字入力モード、数字モードに切り替えるときに使います。

キャッチ/消去ボタン（☞5-7、6-14ページ）

録音内容を消したりするときに使います。また、キャッチホンサービスを利用するときも使います。

登録/機能ボタン

登録や設定を行うときに使います。

再生/読上げダイヤルボタン
（☞2-5、5-5ページ）

録音内容を再生するときに使います。また、押したボタンの番号を音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）
解除したいときは2-5ページをご覧ください。

留守ボタン
（☞5-2、5-4ページ）

外出時、留守番電話にするときに使います。

ダイヤルボタン

電話をかけるときや、文字入力、登録操作を行うときに使います。受話器を上げたり、オンフックボタンやダイヤルボタンを押すと点灯します。（ダイヤルライト）また、電話がかかってきたときに点滅します。

押したボタンの番号を音声でお知らせします。（読上げボイスダイヤル機能）
解除したいときは2-5ページをご覧ください。

⏮（戻し）／トーンボタン
（☞5-2、5-5、6-13ページ）

再生中に録音内容を聞き直したり、１つ前の録音内容を聞いたりするときに使います。
また、ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するときに使います。

⏭（送り）ボタン
（☞5-2、5-5ページ）

再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

内線/保留ボタン
（☞2-9、2-24、2-26、2-28ページ）

子機と内線でお話しするときや、相手の方を保留メロディーでお待たせするときに使います。

マルチファンクションキー

登録や設定項目を選ぶときや、電話帳で相手の方を選ぶときに使います。
また、押す方向によって次の機能を兼用しています。

- **▲は、（音量）**
  （☞1-23ページ）
  受話音量を変えるときに使います。

- **▼は、/（音量）**
  （☞1-23ページ）
  呼出音量、スピーカー音量を変えるときに使います。

- **◀は、再ダイヤル（ポーズ）**
  （☞2-11、2-22、4-6ページ）
  同じ相手の方にもう一度ダイヤルするときに使います。（再ダイヤル）
  また、電話番号の登録や発信の途中で、待ち時間を入れるときに使います。（ポーズ）

- **▶は、電話帳**
  （☞2-17、4-6ページ）
  電話帳で相手の方に電話をかけるときに使います。

子機

マルチファンクションキー

電話帳で相手の方を選ぶときや、登録操作をするときに使います。
また、押す方向によって、次の機能を兼用しています。

● (▲)(▼) は、 ⇕（音量）（☞1-24ページ）
お話し中に、受話音量を変えるときに使います。

● (◀) は、再ダイヤル（ポーズ）（☞2-13、2-23、4-8、7-7、7-9、7-11ページ）
同じ相手の方にもう一度電話をかけ直すときに使います。（再ダイヤル）
ナンバー・ディスプレイをご利用時は、着信した相手の方の番号や名前を表示できます。
また、電話番号の登録や発信の途中で、待ち時間を入れるときに使います。（ポーズ）

● (▶) は、電話帳（☞2-13ページ）
電話帳に登録するときなどに使います。

ホットラインダイヤル（☞2-21ページ）

ホットラインダイヤルを使って電話をかけるときに使います。

通話ボタン（表示ランプ兼用）（☞2-4、2-7ページ）

外へ電話をかけるときや受けるときに使います。

オンフックボタン（☞1-34～1-36、2-4ページ）

子機を置いたまま、ダイヤル（オンフックダイヤル）するときに使います。
また、文字入力するときに「゛」や「゜」を入力するときに使います。

機能（ファクス）ボタン（☞4-4、4-13、6-11ページ）

登録操作や、ファクスを送受信するときに使います。

（音量）ボタン（☞1-24ページ）

呼出音量やスピーカー音量を変えるときに使います。

カナ／キャッチボタン（☞1-34～1-36、6-14ページ）

文字を入力するとき、カナ入力モードや英字入力モード、数字入力モードに切り替えるときに使います。
また、キャッチホンを利用するときに使います。

切ボタン（表示ランプ兼用）

通話をやめるとき、また、登録操作を途中でまちがえたときや、やめるときに使います。

ダイヤルボタン

電話をかけるときや、文字を入力するときに使います。
また、次の機能を兼用しています。

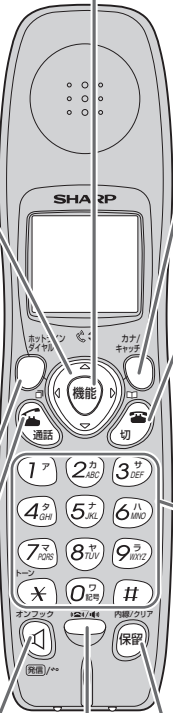
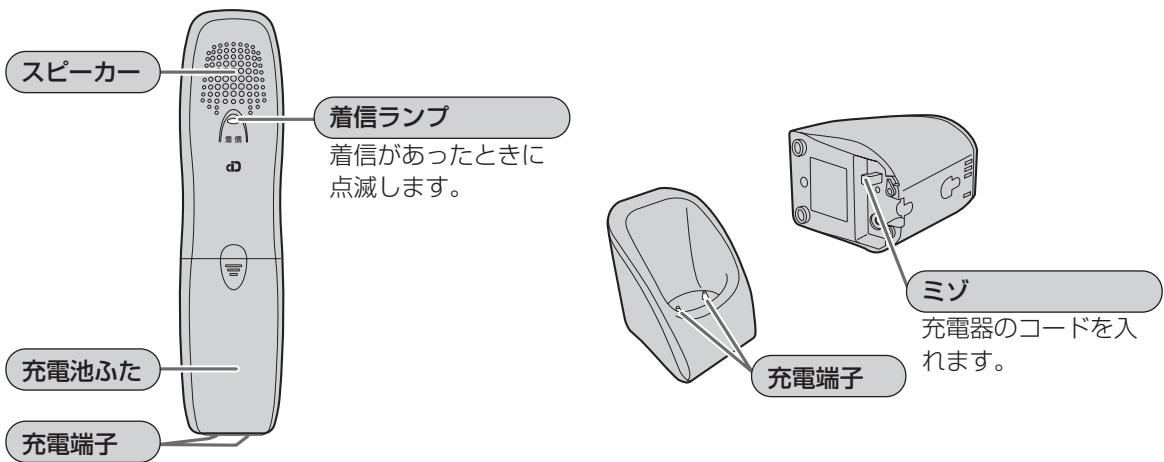
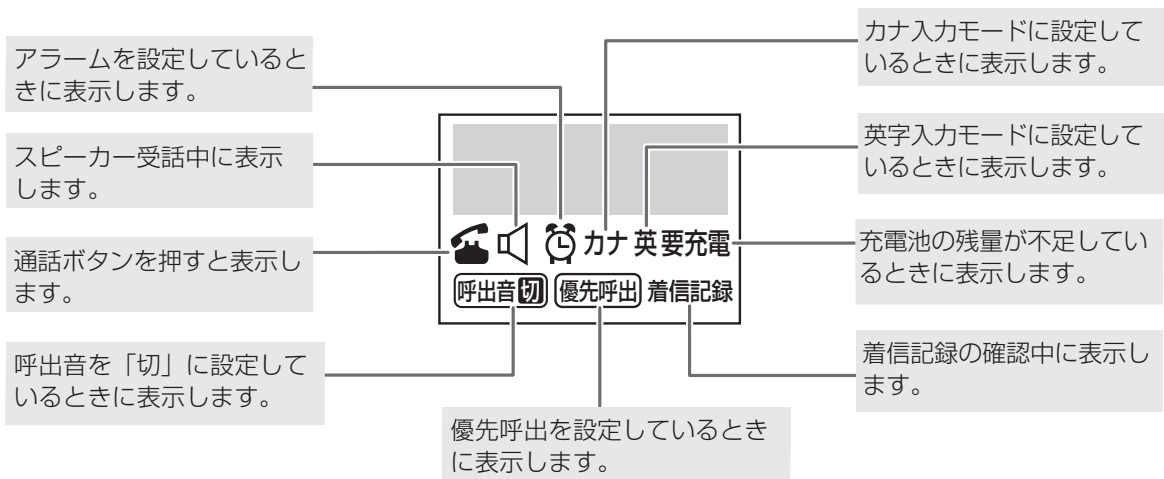
5（戻し）ボタン（☞5-6ページ）
再生中に録音内容を聞き直したり、１つ前の録音を聞いたりするときに使います。

6（送り）ボタン（☞5-6ページ）
再生中に次の録音内容を聞くときに使います。

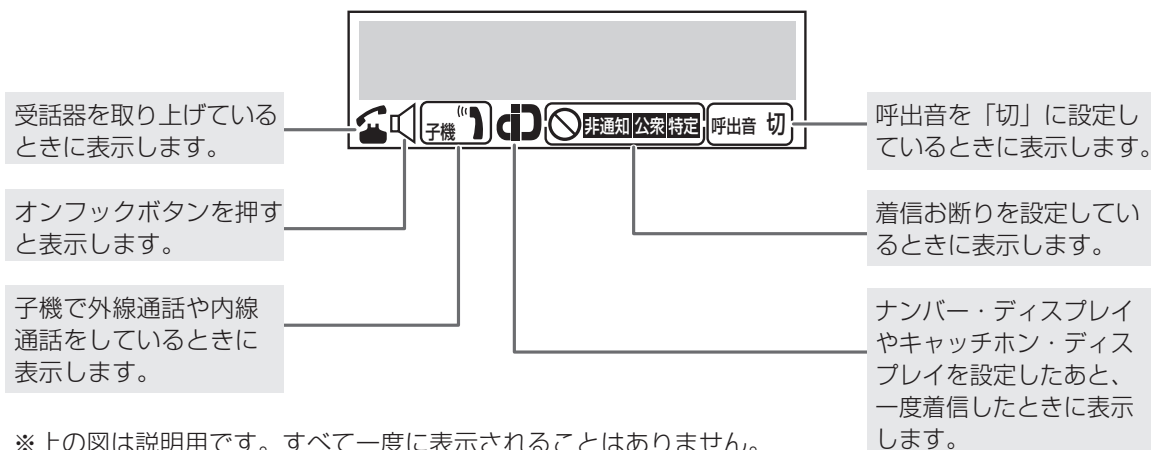
9（早聞き）ボタン（☞5-6ページ）
録音内容を早く聞くときに使います。（約1.5倍速）

＊（トーン）ボタン（☞6-13ページ）
ダイヤル回線で、プッシュホンサービスを利用するときに使います。

保留／内線/クリアボタン（☞1-34、1-36、2-9、2-25ページ）

通話中に、相手の方をお待たせするときや、親機と内線通話をするときに使います。
また、入力した文字を消すときにも使います。

液晶ディスプレイ（子機）

※上の図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

液晶ディスプレイ（親機）

※上の図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

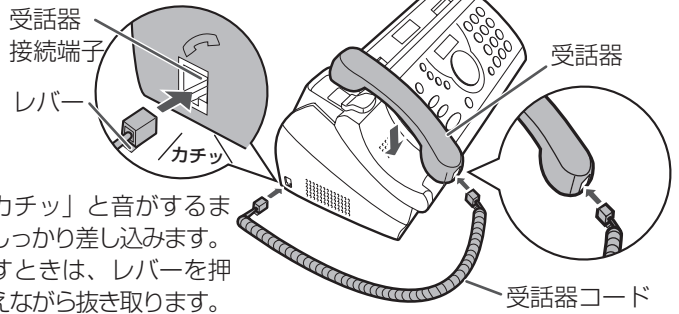
親機を接続する

親機を接続する

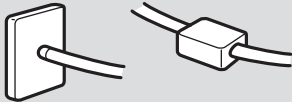
必ず手順の番号順に接続してください。

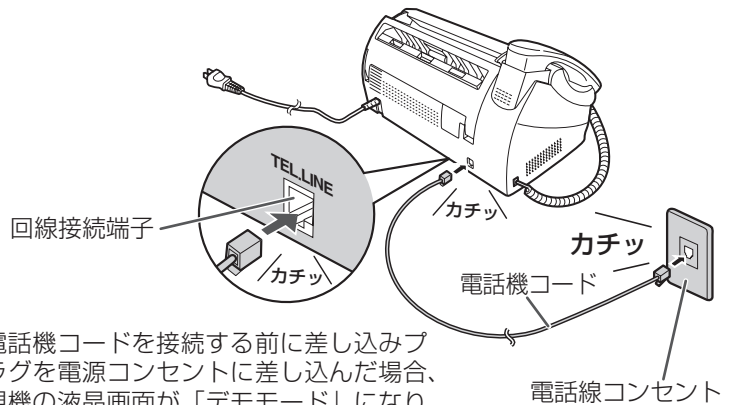
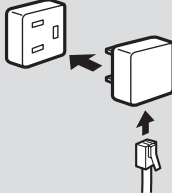
1 受話器コードを、受話器接続端子と、受話器に差し込む

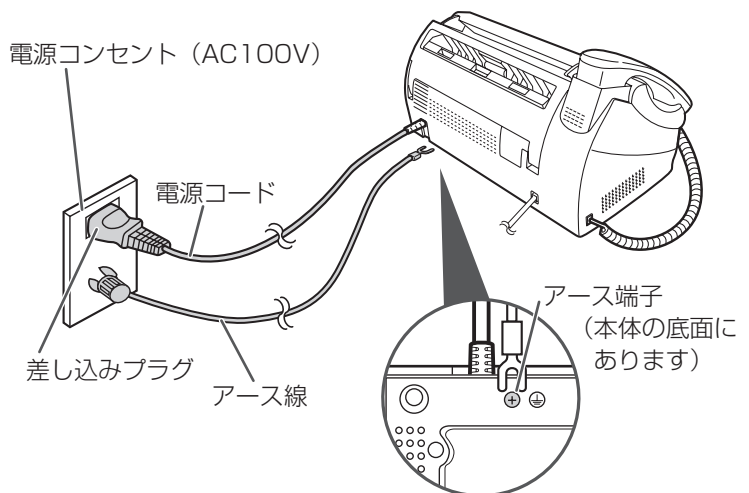
受話器接続端子
レバー
カチッ
受話器
受話器コード

「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。
外すときは、レバーを押さえながら抜き取ります。

2 電話機コードを、回線接続端子とご家庭の電話線コンセントに差し込む

●コンセントのタイプについて

直接配線（ローゼット／プレート）の場合、最寄りのNTT支店・営業所へご相談ください。

３ピンプラグ式コンセントの場合、市販のモジュラー付の電話キャップをお買い求めください。

TEL.LINE
回線接続端子
カチッ
カチッ
カチッ
電話機コード
電話線コンセント

電話機コードを接続する前に差し込みプラグを電源コンセントに差し込んだ場合、親機の液晶画面が「デモモード」になります。
電話機コードを接続し、回線種別が設定されると通常の日付・時刻の表示になります。

3 差し込みプラグを電源コンセントに差し込む

万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線を底面のアース端子へネジ止めします。
アース線は、付属しておりませんので市販のものをご購入ください。

次ページへ→

→つづき

4 電話回線が自動的に設定される

●10PPSの回線を使われているときは、手動で設定してください。
(☞1-17ページ)

●回線種別とは…

電話回線の種類にはダイヤル回線（20PPS、10PPS）とプッシュホン回線（トーン）とがあります。
回線の種類が正しく合っていないと電話をかけることができません。
（利用している回線の種類は、NTTとの契約によります。）

●電話回線が自動的に設定されなかったときは

下のようにディスプレイ表示されます。

```
1:20  2:トーン 3:20
1-3 ヲ ニュウリョク
```

回線種別自動設定ができませんでした。回線の状態によって自動的に設定できないことがあります。
回線種別が合っていないと電話をかけられなかったり、ちがう相手にかかったりすることがあります。
こんなときは①～③で回線を選んでください。

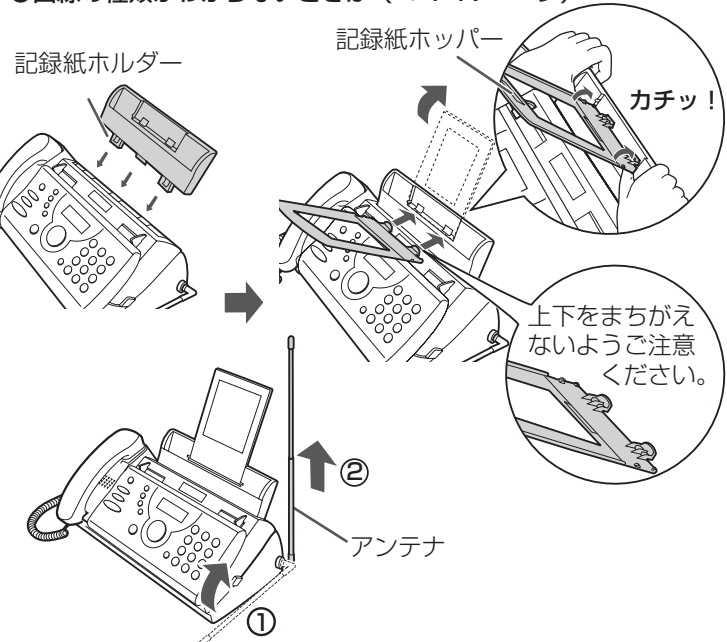
20PPS	▶ ①
トーン（プッシュホン）	▶ ②
10PPS	▶ ③

●回線の種類がわからないときは（☞1-17ページ）

5 記録紙ホルダー、記録紙ホッパーを取り付ける

向きに注意して、図のように取り付けてください。

6 アンテナを立てて伸ばす

アンテナを立てて伸ばさないと、電波の届く距離が短くなります。

■ **ファクシミリを設置したときは**

通信状態を確認することができます。付属の「シャープファクス無料通信テストのご案内」に必要事項をご記入のうえ、シャープファクシミリ通信テストセンターまでファクスでお送りください。受信状態を診断して通信結果をお送り致します。（ファクス送信していただく時間帯によっては、返信に数日かかる場合もあります。）

シャープファクシミリ通信テストセンター

※番号のおかけ間違いのないようご注意ください

0120－364889

お知らせ

- IP電話（インターネットを使った電話）サービスをご利用のときは、回線種別が正しく合わないことがあります。NTTと契約されている回線種別をご確認の上、手動で回線種別を設定してください。（☞1-17ページ）
- 電源を入れると、親機の底面等が部分的にあたたかくなりますが、故障ではありません。
- 電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。
- この商品のプラスチック部分には、光の具合によってキズのように見える箇所があります。これはプラスチックの製作過程で生じるもので、構造上および機能上の問題はありません。

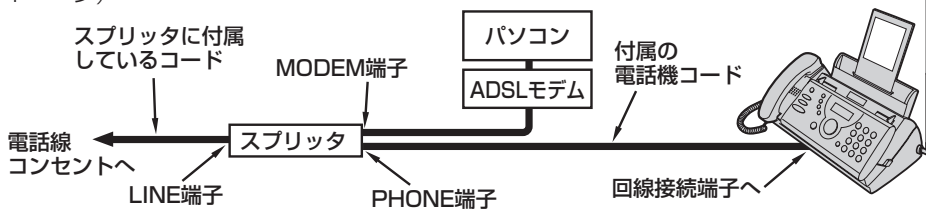
ADSLをご利用のときは

インターネットやパソコン通信にADSLを利用する場合は、スプリッタを用いて本商品とパソコンの両方を接続することができます。ADSLを利用するには、ADSL各サービス会社への申し込みが必要です。

●ADSLには加入電話と共有するタイプ（タイプ1）と共有しないタイプ（タイプ2）があります。
タイプ2のときは本商品をお使いになることができません。
タイプ1のときは、下図のようにスプリッタの「PHONE端子」（ADSL各サービス会社によって名称の異なることがあります）に親機を接続します。

●本商品の回線種別はご契約の回線種別に設定してください。（お使いのADSLモデムによっては回線種別が合っていなくても電話がお使いになれますが、0120（フリーダイヤル）などがご利用になれない場合があります。）

●ADSLをご利用のときは、電話の音量が大きくなりすぎる場合があります。こんなときは「TA対応」の設定を変更すると改善される場合があります。（☞9-9ページ）

●電話回線をADSLに変更する場合は、「電話回線をADSLやISDNに変更したときは」をご覧ください。（☞8-11ページ）

お知らせ

●一般回線やISDNからADSLに変更した場合、サービス会社や接続条件によっては、次のようになります。
・ファクスが送受信できなくなったり、電話にノイズが入ったりすること等があります。その場合は、各ADSLサービス会社にご相談ください。
・電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話、PHSに発信した場合は、非通知になります。
・発信時、局番の頭に 0000、0120、0570、0990等をつけた場合、また 110、119、177、117、186、184、122等の番号にかけたとき、かからない（つながらない）などといった現象が発生することがあります。このときは、NTTと契約されている回線種別と機器の回線設定が合っているかどうかを確認いただき、合っていない場合は手動で設定しなおしてください。（☞1-17ページ）

ISDNをご利用のときは

インターネットやパソコン通信にNTTのISDN回線（INSネット64）を利用する場合は、ISDNターミナルアダプター（TA）を用いて本商品とパソコンの両方を接続することができます。ISDN回線を利用するには、NTTへの申し込みが必要です。

●ISDNターミナルアダプター（TA）の「アナログポート」（TAメーカーにより名称の異なることがあります）に親機を接続します。

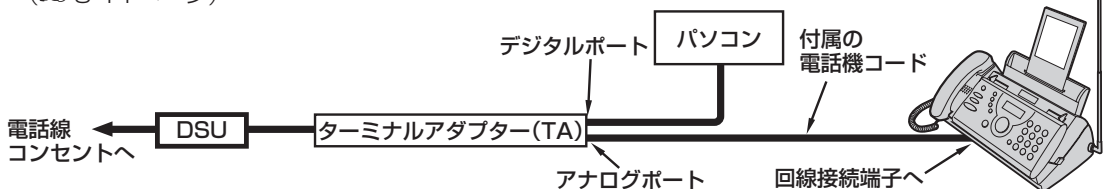
●ターミナルアダプターとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。あらかじめご用意ください。なお、ターミナルアダプターによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはターミナルアダプターの説明書をご覧ください。

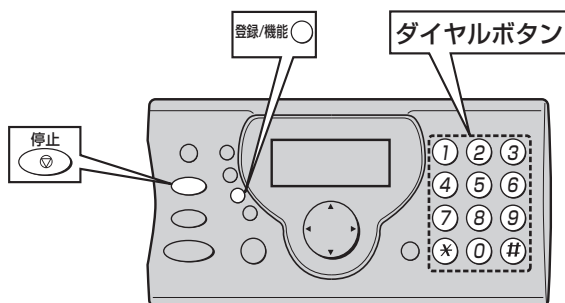
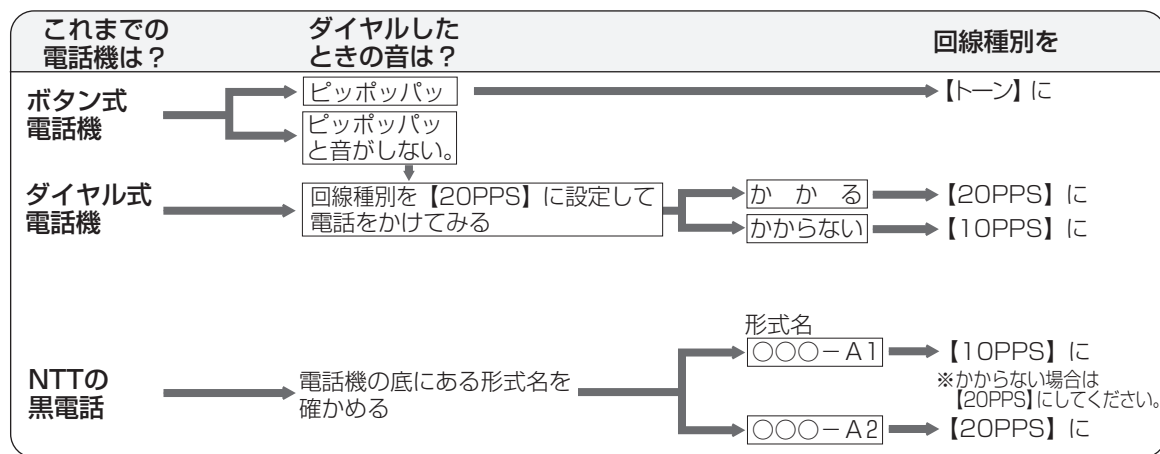
●回線種別はプッシュ回線（PB）に設定してください。

●ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。対応状況は、お使いのTAメーカーにお問い合わせください。

●ナンバー・ディスプレイに対応していないターミナルアダプタをお使いのときは、ナンバー・ディスプレイの利用設定を「シナイ」に設定してください。（☞7-3ページ）

●ISDNをご利用のときは、ターミナルアダプターによって電話の音量が大きくなりすぎる場合があります。こんなときは「TA対応」の設定を変更してください。（☞9-9ページ）

●電話回線をISDNに変更する場合は、「電話回線をADSLやISDNに変更したときは」をご覧ください。（☞8-11ページ）

回線種別を合わせる（変える）ときは

回線種別を親機が自動的に設定できなかったときや、電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。もう一度、回線種別を設定し直してください。
また、10pps回線をご利用の方も、この設定で10PPSに設定を変えてからお使いください。

●回線の種類がわからないときは
回線の種類は、次の方法で調べることができます。もし、わからないときは、最寄りのNTTの支店、営業所にお問い合わせください。

お知らせ

- 受話器を取った状態や、オンフックボタンを押した状態で、回線種別を変えることはできません。

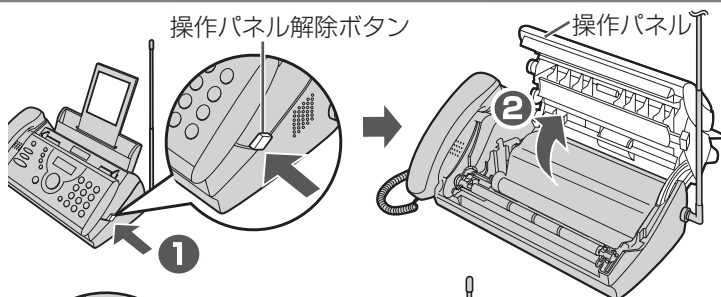
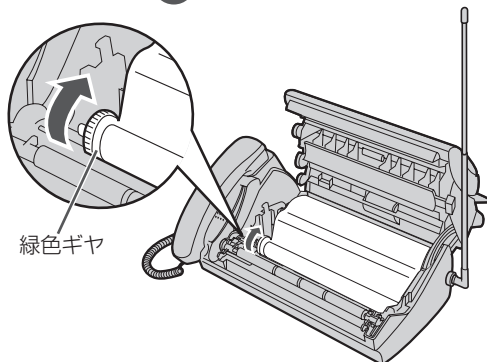
インクリボンを確認する

はじめてお使いになるときは、あらかじめ親機にセットされているインクリボンを確認し、たるみを取る操作をしてください。

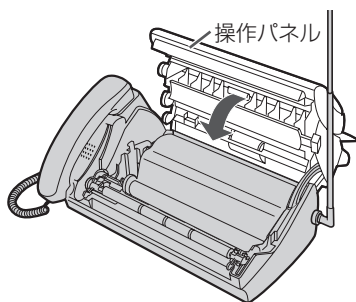
インクリボンは、当社推奨品をお使いください。
（9-2ページ）
UX-NR4A4（50m×１本）
UX-NR4A4W（50m×２本）
インクリボン50mでA4原稿を通常使用で約150枚プリントすることができます。なお、あらかじめお買い上げ時にセットされているインクリボンはお試し用のため、消耗品として別売しているものにくらべて長さが短くなっています。お早めに別売品のインクリボンを準備してください。
（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。）

インクリボンを確認する

1 操作パネル解除ボタンを押して操作パネルを開ける

●操作パネルをいっぱいに開けるととまります。

2 緑色ギヤを矢印の方向へ２～３回まわしてインクリボンのたるみを取る

●インクリボンの上にラベルが貼られているときは、貼っているラベルがかくれるまで巻き取ってください。

3 操作パネルを閉める

●手をはさまないように、注意してゆっくり閉めてください。

●インクリボンがたるんでいるときは「キロクシ／リボンカクニン」と表示されます。こんなときは、もう一度手順1から操作をやり直してください。

■ **使用済インクリボンの取り扱いについて**

● ご使用済みのインクリボンにはコピーや受信したときの内容がフィルム上に白く残っています。コピーや受信した内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切り刻んでから、お捨てください。

● また、ご使用済みのインクリボンは「燃えないゴミ」としてお捨てください。（地域によっては、インクリボンのフィルムは「燃えるゴミ」として取り扱われている場合もあります。）

・インクリボンのフィルムは、ポリエチレン、カーボン、パラフィンなどでできています。

・インクリボンの芯は紙、ポリスチレンでできています。

お知らせ

● インクリボンは必ず当社推奨品をお使いください。（☞9-2ページ）当社推奨品以外のインクリボンをご使用になると、故障や印刷かすれの原因になることがあります。

記録紙をセットする

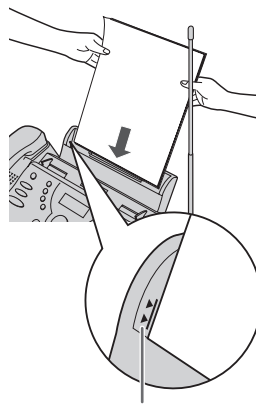
1度に30枚まで、記録紙をセットできます。

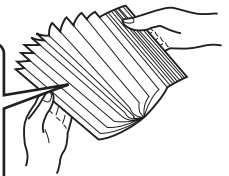
記録紙は、A4サイズの当社推奨品をお使いください。(☞9-2ページ)
推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用するとプリントがかすれたり、濃くまたは薄くプリントされることがあります。

●普通紙（ST-149FAX）

（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。）

記録紙をセットする

1 プリントする面をウラ向きにし、記録紙カセットにセットする（一度に30枚まで）

▼▼マークの位置がめやすです。
マークの線を超える枚数はセットしないでください。

記録紙をよくさばいて紙の先端をそろえてから、そっと置くようにセットしてください。
さばかずに紙の先端をそろえずにセットすると記録紙が正常に送られないことがあります。

- 記録紙ホッパーが壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまることがあります。
このようなときは、親機の設置位置を少し前に寄せてください。
- 記録紙を強く差し込まないでください。

■ 記録紙を追加するときは

いったん記録紙を全部抜き取ってから、再度セットしてください。
プリント中は、記録紙を追加しないでください。

■ 記録紙がつまったときは（☞8-7ページ）

お知らせ

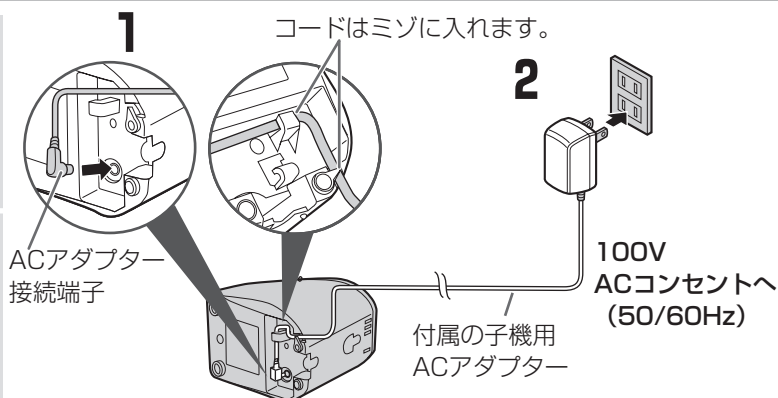
- しわや折り目のあるもの、反っているもの、また破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
- プリント中に記録紙ホッパーや記録紙ホルダーを引き抜かないでください。
- 長期間、記録紙ホルダーに記録紙をセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した記録紙をそのままお使いになると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。

子機を充電する

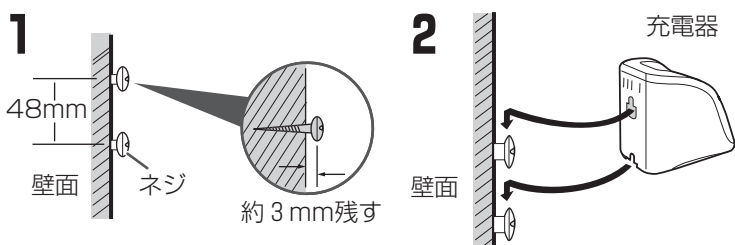
充電器をACアダプターと接続して電源コンセント（AC100V）に差し込みます。また、子機を壁に掛けて使うこともできます。

充電器を接続する

1 充電器にACアダプターを接続する

2 ACアダプターをコンセントに差し込む

子機を壁に掛けて使う

1 ネジをしっかりとした壁や柱に取り付ける

2 充電器を取り付ける

●壁や柱に取り付けるときは、しっかりとした、一定の厚み（2cm以上）のある所へ取り付けてください。
●ACアダプターのコードを壁面と充電器の間にはさまないようにしてください。

●壁掛け用ネジは付属していません。
取り付ける場合は、推奨寸法に近いネジをお買い求めください。
子機１台：２本

充電器裏面の穴の寸法
6mm
11.5mm

ネジの推奨寸法

お知らせ

- 充電端子はピンなどの異物でショート（短絡）させないでください。
- 子機の充電器は、充電端子が汚れていたり、異物がついていたりすることがあります。いつもきれいにしておいてください。（☞8-5ページ）
- 充電中は子機や充電器があたたかくなりますが、異常ではありません。
- 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。

はじめてお使いになるときは、
必ず10時間以上充電してください。

充電池の寿命

- 充電池にも寿命があります。古くなると充電しても使えなくなります。
- 使用頻度にもよりますが、約２年程度で使用できなくなります。長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときは新しい別売の充電池に交換してください。

通話時間について

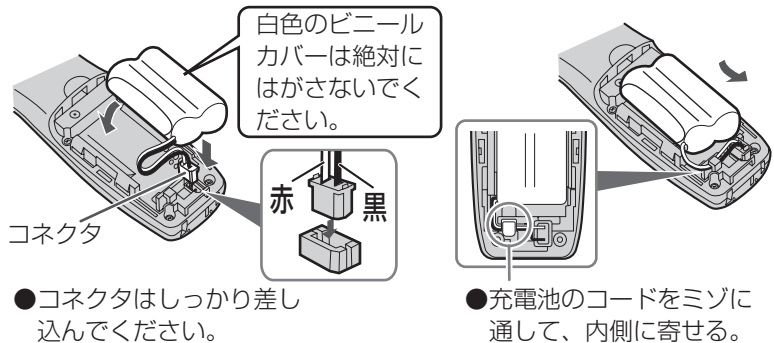
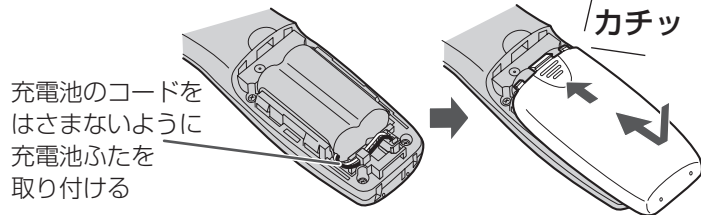
いっぱいに充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は

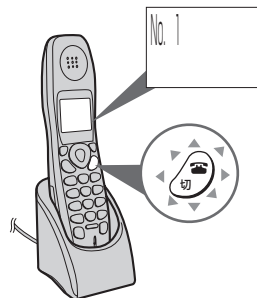
- 通話状態で**約６時間**です。
- 通話中や登録操作中に、充電容量がなくなると、“ピッピッ…”と警報音が鳴り、約１分後に通話が切れます。（子機のディスプレイに“要充電”が表示されます。）このときは、いったん電話を切って充電するか、親機に転送してお話しください。

子機を充電する

1 充電池のコネクタを接続して充電池を入れる

●コネクタはしっかり差し込んでください。

●充電池のコードをミゾに通して、内側に寄せる。

2 充電池ふたを取り付ける

3 子機を充電器に置く

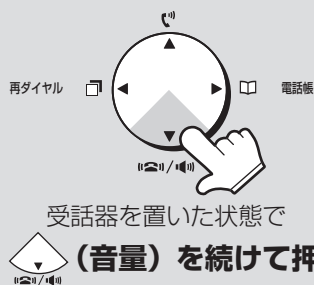
ボタン面を手前に向けて置いてください。逆向きに置くと充電されません。

はじめてお使いになるときは、
切ボタンが点灯してから
10時間以上充電
してください。

子機を充電器に置くだけで、自動的に電源が入り（切ボタン点灯）、充電が始まります。

- 子機を使わないときは、いつも充電器に戻してください。
- はじめて子機を充電するときは、切ボタンが点灯しても、液晶ディスプレイに“ No. 1 ”が表示されるまで時間がかかることがあります。
- 充電中は充電器や子機があたたかくなりますが、異常ではありません。
- ディスプレイに表示される“ No. 1 ”などの番号は、子機の内線番号です。内線通話やとりつぎ転送するときに使います。（☞2-24、2-26ページ）

お知らせ

- 旅行や長期不在により子機を使用されないときは、充電池のコネクタを外しておくことをおすすめします。

呼出音量や受話音量、スピーカーの音量を変える

相手の声が聞きとりにくいときは、受話器やスピーカーから聞こえる音の大きさを変えることができます。

親機の呼出音量を変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

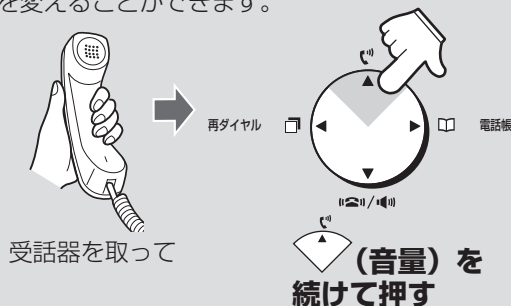
受話器を置いた状態で

（音量）を続けて押す

●はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。（音量は変わりません。）続けて押すと音量を変えることができます。

●ボタンを続けて押すと5段階に設定できます。

親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

受話器を取って

（音量）を続けて押す

●はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。（音量は変わりません。）続けて押すと音量を変えることができます。

●ボタンを続けて押すと5段階に設定できます。

親機の呼出音を鳴らさないようにする

呼出音を鳴らさないようにすることができます。このとき電話の着信は、液晶ディスプレイの点灯でわかります。

受話器を置いた状態で

（音量）を5秒以上（「ピー」という音が鳴るまで）押し続ける

親機のディスプレイに 呼出音 切 が表示されます。再び、呼出音を鳴らすときは、（音量）ボタンを押します。

●「切」にしているときでも、内線からの呼出音は鳴ります。

親機のスピーカー音量を変える

録音再生時にスピーカーから聞こえる音の大きさや、通信時の音声ガイダンス（「ファクスを送信します。」など）の大きさ、留守録の応答メッセージの大きさ、読上げボイスダイヤル機能（☞2-5ページ）の音の大きさを変えることができます。

オンフック

を押し、

「ツー」という音が聞こえているときに

（音量）を続けて押す

●はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。（音量は変わりません。）続けて押すと音量を変えることができます。

●ボタンを続けて押すと5段階に設定できます。

■ 相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（親機送話音量切替　☞8-2ページ）

■ 親機のダイヤルボタンを押したときの音声を発声させないようにするときは（読上げボイスダイヤル機能　☞2-5ページ）

■ 親機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を鳴らさないようにするときは（キータッチ音　☞4-18ページ）

子機の呼出音量を変える

電話がかかってきたときの呼出音の大きさを変えることができます。

通話ボタンを消灯させた状態で
（音量）を押す

はじめは「大」になっています。
小⟷大の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。音は現在設定している呼出音で鳴ります。）

子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる相手の方の声の大きさを変えることができます。

通話中に
大きくするときは を押す
小さくするときは を押す

はじめは「標準」になっています。
標準⟷特大の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

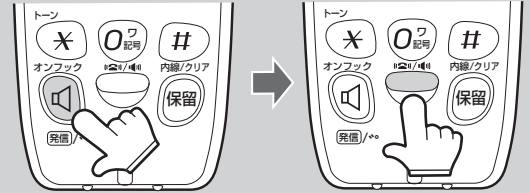
子機の呼出音を鳴らさないようにする

呼出音を鳴らさないようにすることができます。このとき電話の着信は、通話ボタンや着信ランプの点滅でわかります。

通話ボタンを消灯させた状態で
（音量）を2秒以上（ピー音が鳴るまで）押し続ける

ディスプレイに 呼出音切 が表示されます。
再び呼出音を鳴らすときは （音量）ボタンを押します。
● 呼出音切 に設定しているときでも、内線からの呼出音は鳴ります。

子機のスピーカー音量を変える

録音再生時などスピーカーから聞こえる大きさを変えることができます。

オンフック **を押し、**

「ツー」という音が聞こえているときに
（音量）を押す

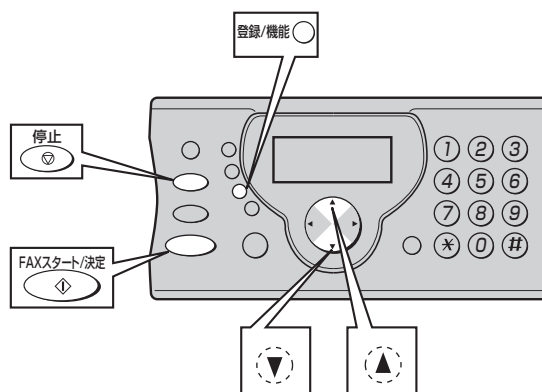
はじめは「標準」になっています。
標準⟷大の2段階に設定できます。（音を聞きながら設定してください。）

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（子機送話音量 ☞8-2ページ）**

■ **子機の受話音量を全体的にさらに大きくしたいときは（子機受話音量 ☞8-2ページ）**

■ **子機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」音を鳴らさないようにするときは（キータッチ音出力 ☞6-11ページ）**

呼出音の種類を変える

電話がかかってきたときの呼出音の種類を変えることができます。
親機の呼出音は、あらかじめ 6 種類のメロディーが内蔵されています。

親機の呼出音の種類を変える

1 登録/機能◯ **を押す**

〈トウロク／キノウ〉
1：ショキ　トウロク

2 ▲ **または** ▼ **で「オヤキヨビダシオン」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

〈オヤキ　ヨビ゛ダ゛シオン〉
1：ヨビ゛ダ゛シ　カイスウ

3 ▲ **または** ▼ **で「ヨビダシオンキリカエ」を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

〈ヨビ゛ダ゛シオン　キリカエ〉
1：デ゛ンワベ゛ルオン

●はじめは（工場出荷時は）電話ベル音に設定されています。

4 ▲ **または** ▼ **で呼出音を選び、** FAXスタート/決定 **を押す**

トリノコエ　ニ　シマシタ

固定メロディー		
	01	電話ベル音
	02	鳥の声
	03	電子音
	04	バッハのインベンション
	05	ビバルディの春
	06	アイネ・クライネ

5 停止 **を押す**

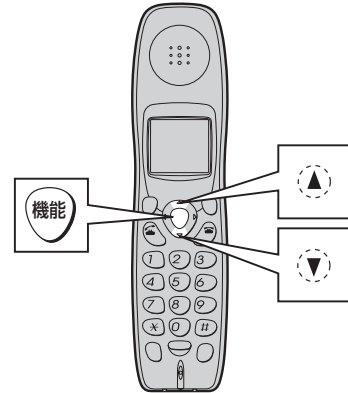
■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1 つ前に戻るときは**
キャッチ/消去◯ を押します。

■ **設定した親機の呼出音を確認したいときは（親機の呼出音量を変える** ☞1-23ページ**）**

お知らせ

● 内線からの呼出音は、常に「プルルルル、プルルル」です。
● 親機の呼出音を電話ベル音以外に設定していても、プリント中などで、親機が動作しているときは、「電話ベル音」になります。

子機の呼出音は、あらかじめ 9 種類内蔵されています。
さらに、自分で作曲できるオリジナルメロディー（☞6-5～6-10ページ）を１種類登録できますので、合わせて10種類の中から１つ選ぶことができます。

子機の呼出音の種類を変える

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）を押す

ヨウケンサイセイ

2 （▲）または（▼）で「チャクシンネイロ」を選んだあと、（機能）を押す

▲▼:ネイロセンタク

●現在設定されている呼出音が鳴ります。

3 （▲）または（▼）で呼出音の種類を選ぶ

●選ぶたびに、呼出音（確認音）が鳴ります。

固定メロディー	01	「プルルル　プルルル」
	02	「ポロロロ　ポロロロ」
	03	「ショートメロディー①」
	04	「ショートメロディー②」
	05	「ショートメロディー③」
	06	「展覧会の絵」
	07	「エリーゼのために」
	08	「のばら」
	09	「春」
オリジナルメロディー	10	「オリジナル」※

※「自分で呼出音を作る（オリジナルメロディー）」（☞6-5～6-10ページ）で作ると選ぶことができます。

4 （機能）を押す

●「ピー」と鳴って設定されます。

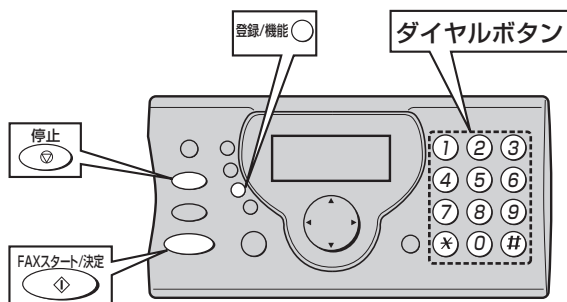
■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

お知らせ

● 内線からの呼出音は、常に「プルルル、プルルル」です。

日付と時刻を合わせる

ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に日付と時刻をプリントします。また、留守番電話で用件が録音された日付や時刻を確認したりすることもできます。
（親機の日付・時刻は、工場出荷時にあらかじめ設定されています。）

親機の日付と時刻を合わせる

受話器を置いたまま操作します。

1 登録/機能○ **を押す**

〈トウロク／キノウ〉
1：ショキ　トウロク

2 **「ショキトウロク」を選び、FAXスタート/決定 を押す**

〈ショキ　トウロク〉
1：ヒヅ ケ・ジ コク

3 FAXスタート/決定 **を押す**

ヒヅ ケ　03－02－06

4 **ダイヤルボタンで日付を入れる**

ジ コク　16：00

例：0 3 0 2 2 7
２００３年 ２月　２７日

日付を修正しないときは、FAXスタート/決定ボタンを押して手順５へ

- 数字を入れまちがえたときは、キャッチ/消去ボタンを押して、もう一度入れ直します。
- 年は西暦年の下２桁を入れます。

【年入力】
２００３年 ⇒ ０３
〜
２０９２年 ⇒ ９２

5 **ダイヤルボタンで時刻を入れる**

2－27　THU　15：00

時刻は24時間制で入れます。

例：1 5 0 0
午後３時　００分

6 FAXスタート/決定 **を押す**

トウロク　シマシタ

- ０秒から時計がスタートします。

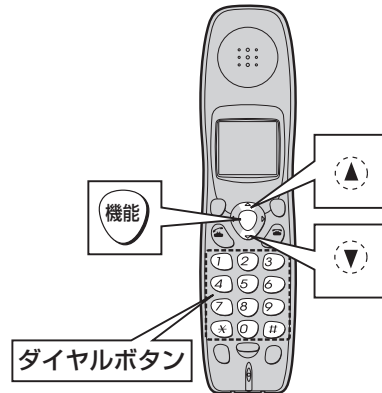
7 停止 **を押す**

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **１つ前に戻るときは**
キャッチ/消去○ を押します。

お知らせ

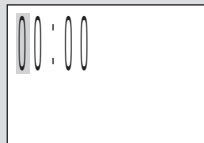
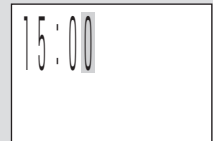
- 時刻表示は、めやすとしてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。（時計精度：平均月差±60秒以内）
- 年はディスプレイに表示されませんが、送信したファクスにプリントされます。
- 操作の途中で約1分間何もしないでいると、待機画面に戻ります。そのときは、はじめからやり直してください。

子機の時刻を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。(親機の時刻を合わせても子機の時刻は合いません。)

子機の時刻を合わせる

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）**を押す**

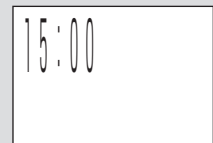
ヨウケンサイセイ

2 （▲）**または**（▼）**で「トケイトウロク」を選んだあと、**（機能）**を押す**

3 ダイヤルボタンで時刻を入れる

15:00

時刻は24時間制で入れます。

例：1 5 0 0
午後3時　00分

- 1ケタのときは、最初「0」をつけて入れます。
  例：0 9 0 8
  午前9時　8分
- 数字を入れまちがえたときは、（►）または（◄）でまちがえた数字を選んで、もう一度、入力し直します。

4 （機能）**を押す**

- 「ピー」と鳴ったあと待機画面に戻り、0秒から時計がスタートします。

■ **途中でやめるときは**

（切）を押します。

■ **「ピピピピ」と鳴ったときは**

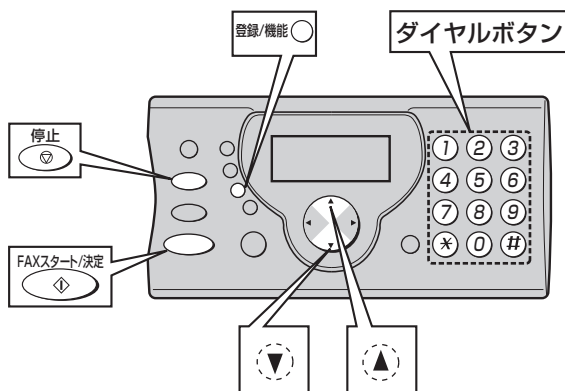
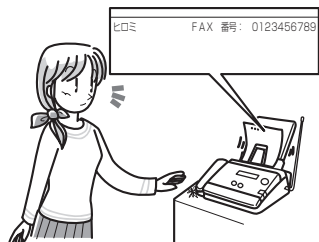
時刻として入力できる範囲を超えた数字が入力されています。はじめから入力をやり直してください。

お知らせ

- 充電池のコネクタが外れたり、充電池の容量がなくなると、設定した時刻は消えてしまいます。再度、登録してください。
- 操作の途中で約1分間何もしないでいると、待機画面に戻ります。そのときは、はじめからやり直してください。

あなたの電話番号や名前を登録する

ファクスを送るとき、あなたの電話番号や名前（発信元情報）を相手の方に伝えるために登録します。登録した番号や名前は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙にプリントされます。

ファクスを受けた相手の方には……

あなたの電話番号を登録する

1 登録/機能○ を押す

〈トウロク/キノウ〉
1:ショキ トウロク

2 「ショキトウロク」を選び FAXスタート/決定 を押す

〈ショキ トウロク〉
1:ヒヅ゛ケ・ジ゛コク

3 ▲または▼で「ハッシンモトバンゴウ」を選び FAXスタート/決定 を押す

〈ハッシンモト バ゛ンゴ゛ウ〉
1:トウロク 2:クリア

4 「トウロク」を選び FAXスタート/決定 を押す

〈ハッシンモト バ゛ンゴ゛ウ〉
NO.＝

5 電話番号を入れる（最大20ケタ）

〈ハッシンモト バ゛ンゴ゛ウ〉
NO.＝0312345678

- 番号を入れまちがえたときはキャッチ/消去ボタンを押して、もう一度入れ直します。
- スペース（空白）を入れるときは # を押します。
  プラス（＋）を入れるときは ＊ を押します。

6 FAXスタート/決定 を押す

トウロク シマシタ

7 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**

停止 を押します。

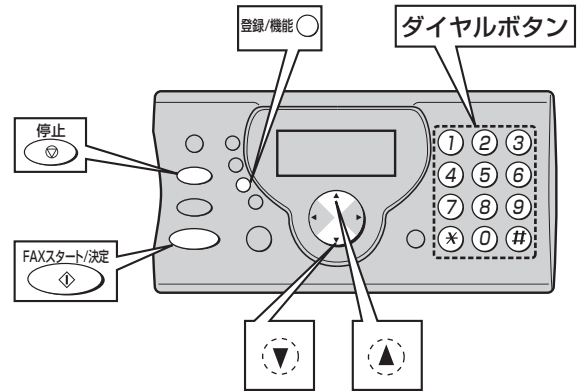
■ **1つ前に戻るときは**

キャッチ/消去○ を押します。

■ **登録した電話番号を消すときは**

① 手順1～3の操作を行う
② 「クリア」を選び、FAXスタート/決定 を押す
③ もう一度 FAXスタート/決定 を押す
④ 停止 を押す

■ **登録した電話番号を変えるときは**

一度消してから、もう一度登録します。

あなたの名前を登録する

1 登録/機能○ を押す

〈トウロク／キノウ〉
1：ショキ　トウロク

2 「ショキトウロク」を選び FAXスタート/決定 を押す

〈ショキ　トウロク〉
1：ヒヅケ・ジコク

3 ▲ または ▼ で「ハッシンモトメイ」を選び FAXスタート/決定 を押す

〈ハッシンモトメイ〉
1：トウロク　2：クリア

4 「トウロク」を選び FAXスタート/決定 を押す

〈ハッシンモトメイ〉　　カ　ナ

5 名前を入れる（最大24文字）
（☞1-31～1-33ページ）

〈ハッシンモトメイ〉　　カ　ナ
イケダ　サトシ

6 FAXスタート/決定 を押す

トウロク　シマシタ

7 停止 を押す

■ **途中でやめるときは**
停止 を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
キャッチ/消去○ を押します。

■ **登録した電話番号を消すときは**
① 手順1～3の操作を行う
② 「クリア」を選び、FAXスタート/決定 を押す
③ もう一度 FAXスタート/決定 を押す
④ 停止 を押す

■ **登録した電話番号を変えるときは**
一度消してから、もう一度登録します。

文字入力のしかた

あなたの名前を登録するときや、電話帳の名前の入力など、文字入力するときはダイヤルボタンを使って入力します。（☞2-10ページ、☞2-13ページなど）カタカナ・英字・数字を使うことができます。
親機では画質/カナボタン、子機ではカナ/キャッチボタンで、入力する文字の種類を替えることができます。

文字入力一覧（親機）

■ 文字を入力する

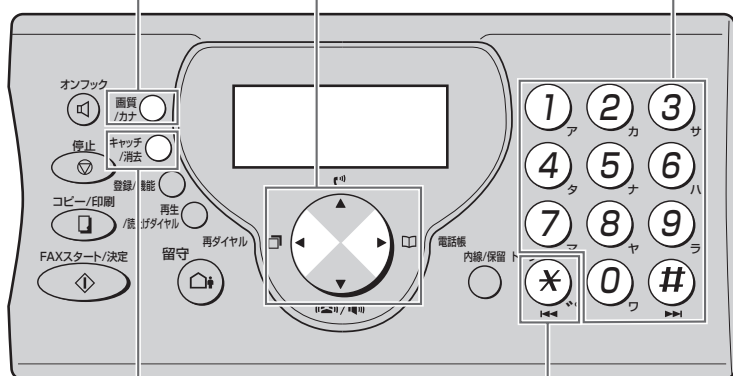
入力モード／入力ボタン	カタカナ [カ ナ]	英字 [ABC]	数字 [123]
1 ア	アイウエオ ァィゥェォ	@.-_	1
2 カ	カキクケコ	ABC	2
3 サ	サシスセソ	DEF	3
4 タ	タチツテト ッ	GHI	4
5 ナ	ナニヌネノ	JKL	5
6 ハ	ハヒフヘホ	MNO	6
7 マ	マミムメモ	PQRS	7
8 ヤ	ヤユヨ ャュョ	TUV	8
9 ラ	ラリルレロ	WXYZ	9
0 ワ	ワ ヲ ン ー □（スペース）	,.:!?&/()[] □（スペース）	0
#	無効		#

● 親機では英字の小文字は入力できません。

■ カナ/英字/数字を選ぶ

入力モード／入力ボタン	全てのモード
画質/カナ	入力モード変換

■ カーソルを左右に移動する

入力モード／入力ボタン	全てのモード
再ダイヤル ◀ / ▶ 電話帳	カーソル左右移動

■ 文字を消す

入力モード／入力ボタン	全てのモード
キャッチ/消去	カーソル上の1文字を消去

■ 濁点/半濁点を入力する

入力モード／入力ボタン	カタカナ [カ ナ]	英字 [ABC]	数字 [123]
トーン ✱	濁点/半濁点	無効	*

「イケダ」と入力するときは次のように入力します。

親機で文字入力する（例）

ディスプレイは電話帳に登録するときのものです。

1 画質/カナ○で文字の種類を選ぶ
（☞1-33ページ）

アイテメイ トウロク カ ナ

●はじめ、電話帳に登録するときは、「カナ入力モード」になっています。

2 ①ア を 2 回押す

アイテメイ トウロク カ ナ
イ

●くり返して押すと
ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ
の順に切り替わります。

3 ②カ を 4 回押す

アイテメイ トウロク カ ナ
イケ

●同じボタンを使って入力する文字（例：「ア」と「エ」、「ワ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは 1 文字目を入力したあと、▶ を押して、カーソルを移動してから 2 文字目を入力します。

4 ④タ を押す

アイテメイ トウロク カ ナ
イケタ

●▶ を押してカーソルを移動して、文字を入力すると、その間にスペースが入ります。

5 トーン ＊ を押す

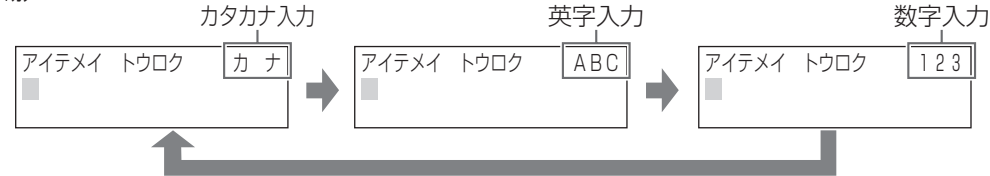
アイテメイ トウロク カ ナ
イケタ゛

6 FAXスタート/決定 を押す

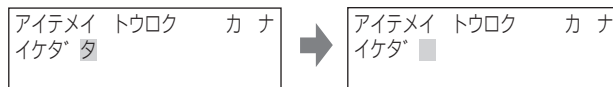
●文字入力が終了します。

親機の文字入力について

■ 文字の種類を選ぶときは

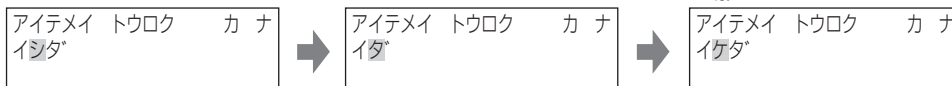
を押して切り替えます。

■ 文字を消すには

カーソルの１つ前が消えます。
（カーソルが文字の上にあるときは、その文字が消えます。）

キャッチ/消去○を押す

■ 文字を入れ直すには

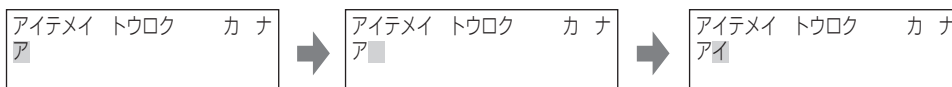
①訂正したい文字を
または ► で選ぶ

②キャッチ/消去○を押して文字を消す

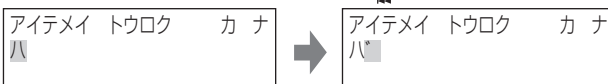
③ダイヤルボタンで正しい文字を選んで入れる
（文字の種類を替えるときは、画質/カナ○を押す）

■ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは

必ず ► を押してカーソルを移動させてから入力します。

（例）「アイ」と入れる

①１を押す「ア」　②►を押す　③１を２回押す「イ」

■ 濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは

濁点（゛）や半濁点（゜）をつけたい文字を入れたあと、次の操作を行います。

＊を押す

●くり返し押すと、（゛）と（゜）が切り替わります。

■ スペースを入力するときは

► を必要な分だけ押します。１回押せば１文字分のスペースが入ります。

文字入力一覧（子機）

■ カーソルを左右に移動する

入力モード / 入力ボタン	全てのモード
◁ / ▷	カーソル左右移動

■ カナ/英字/数字を選ぶ

入力モード / 入力ボタン	全てのモード
カナ/キャッチ	入力モード変換

■ 濁点/半濁点を入力する

入力モード / 入力ボタン	カタカナ [カナ]	英字 [英]	数字 [表示なし]
オンフック（発信/゛゜）	濁点/半濁点	無効	

■ 文字を消す

入力モード / 入力ボタン	全てのモード
内線/クリア（保留）	カーソル上の1文字を消去
内線/クリア（保留）を2秒以上押す	全文字消去

■ 文字を入力する

入力モード / 入力ボタン	カタカナ [カナ]	英字 [英]	数字 [表示なし]	入力モード / 入力ボタン	カタカナ [カナ]	英字 [英]	数字 [表示なし]
1 ア	アイウエオ ァィゥェォ	無効	1	7 マ PQRS	マミムメモ	PQRS pqrs	7
2 カ ABC	カキクケコ	ABC abc	2	8 ヤ TUV	ヤユヨ ャュョ	TUV tuv	8
3 サ DEF	サシスセソ	DEF def	3	9 ラ WXYZ	ラリルレロ	WXYZ wxyz	9
4 タ GHI	タチツテト ッ	GHI ghi	4	0 ワ 記号	ワ ヲ ン ー □(スペース)	ー□(スペース) / [ ] : , . ! ( ) & ? @	0
5 ナ JKL	ナニヌネノ	JKL jkl	5	トーン ＊	無効		＊
6 ハ MNO	ハヒフヘホ	MNO mno	6	#	無効		#

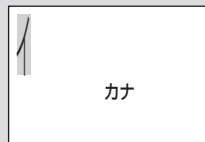
「イケダ」と入力するときは次のように入力します。

子機で文字入力する（例）

・通話ボタンを消灯した状態で操作します。
・ディスプレイは電話帳に登録するときのものです。

1 カナ/キャッチ **で文字の種類を選ぶ**
（☞1-36ページ）

●はじめは「カナ入力モード」になっています。

2 1ア **を 2 回押す**

●くり返して押すと
ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ
の順に切り替わります。

3 2カABC **を 4 回押す**

●同じボタンを使って入力する文字（例：「ア」と「エ」、「ワ」と「ー（長音）」など）を続けて入力するときは 1 文字目を入力したあと、▶ を押して、カーソルを移動してから 2 文字目を入力します。

4 4タGHI **を押す**

イケタ
カナ

●▶ を押してカーソルを移動して、文字を入力すると、その間にスペースが入ります。

5 オンフック（発信）**を押す**

6 機能 **を押す**

●文字入力が終了します。

子機の文字入力について

■ 文字の種類を選ぶときは

カナ/キャッチ を押して切り替えます。

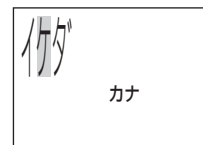
■ 文字を消すには

①訂正したい文字を ◀ または ▶ で選ぶ　② 内線/クリア 保留 を押す

■ 文字を入れ直すには

①訂正したい文字を ◀ または ▶ で選ぶ

② 内線/クリア 保留 を押して文字を消す

③ダイヤルボタンで正しい文字を選んで入れる（文字の種類を替えるときは、カナ/キャッチ を押す）

■ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは

必ず ▶ を押してカーソルを移動させてから入力してください。

（例）「アイ」と入れる

① 1ア を押す「ア」　② ▶ を押す　③ 1ア を2回押す

■ 濁点（゛）や半濁点（゜）をつけるときは

濁点（゛）や半濁点（゜）をつけたい文字を入れたあと、次の操作を行います。

オンフック 発信/゛゜ を押す

●くり返し押すと、（゛）と（゜）が切り替わります。

■ スペースを入力するときは

▶ を必要な分だけ押します。1回押せば1文字分のスペースが入ります。